

7. 第22回 ボウリング競技実施要項

(下線は追加箇所)

1. 競技種目

- ① 団体戦: 男子団体・女子団体
- ② 個人戦: 男子個人・女子個人

2. 競技規定

- ① 大会開催年度の JBC(財団法人全日本ボウリング協会)規則を準用する。また、本大会申し合わせ事項による。
- ② 予選、決勝とも デュアル方式で行う。

3. 出場資格

- ① 個人戦は、人数制限を設けない。
- ② 団体戦は、加盟団体毎に男女別 1 チームとする。

4. チームの編成

- ① 男子団体は 1 チーム 4 名、女子団体は 1 チーム 3 名とする。
- ② 団体戦で自チームが定員に満たない場合、当該ブロックの加盟団体から男子は 2 名まで、女子は 1 名まで補充できる。

5. 競技方法

① 団体戦

男子の部 4 人×6 ゲームとし、計 24 ゲームのトータルピンにより順位を定める。

女子の部 3 人×6 ゲームとし、計 18 ゲームのトータルピンにより順位を定める。

② 個人戦

男子の部 予選 6 ゲームとし、そのトータルで上位 24 名が決勝へ進出する。決勝は 3 ゲームを行い、9 ゲームトータルにて順位を決定する。

女子の部 予選 6 ゲームとし、そのトータルで上位 12 名が決勝へ進出する。決勝は 3 ゲームを行い、9 ゲームトータルにて順位を決定する。

6. 表彰

- ① 各種目とも決勝戦終了後、閉会式において行う。
- ② HG 賞、HS 賞は個人戦予選を対象とする。

7. スタート、ゲームセットについて

- ① スタートの合図時に遅刻した場合は失格とする。
- ② スタートの合図は緑色、ゲームセットは赤色の旗を用いる。

8. スコアの確認

各ゲームのスコアをスコアカードに記載し提出する際、次のことに注意すること。

- ① 選手自身がサインしなければならない。
- ② スコアの誤記、誤算が発見された場合は、本人の確認サインがあっても本人を呼び出し、訂正の承認をとり確定する。但し、競技会の進行上、呼び出し後 5 分以上は待たず、本人の承認以

前に記録委員長が確定することがある。

9. 使用ボールについて

- ① ボールラックには使用ボール 2 個までとする。
- ② ボールラックが狭い時は、ラックの下に置くこと。
- ③ 参加選手はマイボールを使用すること。
- ④ ボールにテープ類の付着等、投球に有利な工作をした場合は失格とする。
- ⑤ 競技中のボールの破損、損傷については主催者も会場責任者も責任を負わない。

10. タイスコア

予選、決勝において同順位が 2 名以上の場合は、

- ① シリーズのハイ・ロー差
- ② ゲームのハイ・ロー差
- ③ ストライク数の多いもの
- ④ スペアーの多いもの
- ⑤ 9F・10F のプレーオフ

11. 競技服装等

- ① ユニフォーム着用を義務とする。着用なしは失格とする。またスポーツにふさわしくない服装、ハチマキなどは認めない。
- ② ユニフォームには都道府県名と名前を背部に必ず記入すること。
- ③ 団体戦の選手は、全員同じユニフォームを着用すること。

12. 競技中の禁止事項

(ボウラーズベンチ内及びコンコース)

- ① アプローチパウダーその他の物の使用、アプローチの状態の変更は禁止する。
- ② 応援者との雑談、他選手へのアドバイス (但し団体戦で自チーム内は可)、喫煙、飲食、補聴器装着や携帯電話の使用、出場選手と監督と役員以外のボウラーズベンチ内への立ち入り等は禁止する。

13. その他

- ① メンバー及び投球順の変更は、所定用紙にて監督・主将等合同会議の終了までに提出すること。以降変更は出来ない。
- ② レーン割当は大会参加申込締切日以降、実行委員会において抽選により行う。レーンの変更はマシントラブル以外には認められない。
- ③ ファールは次の投球者に移るまでとし、判定機故障により生じたと見られる場合は、競技委員が裁定する。
- ④ 競技会場へのボールの搬送等に関しては、実行委員会の定めるとおりとする。
- ⑤ 競技中トラブルが発生したときは、競技を一時中断し、競技委員の指示に従うこと

14. 本要項の改正

- ・一部改正 2004 年 2 月 22 日 第 6 回全国委員会
- ・一部改正 2005 年 2 月 27 日 第 7 回全国委員会
- ・一部改正 2008 年 2 月 3 日 第 3 回本委員会
- ・一部改正 2009 年 2 月 8 日 第 3 回本委員会